



CYBERDYNE

**2022年3月期
第1四半期決算説明資料**

CYBERDYNE株式会社

2021年8月13日

連結業績 - 前期比較 (IFRSベース)



売上収益 : 380百万円 (5.9%増加)
当期利益 : △276百万円

(単位：百万円)

	FY2020 Q1	FY2021 Q1	増減額	増減率
売上収益 (売上総利益)	359 (252)	380 (277)	+21 (+25)	+5.9% (+10.0%)
営業利益	-230	-283	-53	
税引前利益	-66	-265	-199	—
当期利益 (親会社帰属)	-129	-276	-147	—

売上の内訳 (対前期比)

(内訳)

- レンタル +22M (主に海外向けHAL医療用下肢タイプ)
- 製品販売 -19M (一時売上の減少)
- サービス +18M (主にロボケア・治療センター)

販管費等の内訳 (対前期比)

(内訳)

販管費 61M (TV CM放映)

投資有価証券関連益 2M (純額)

(内訳)

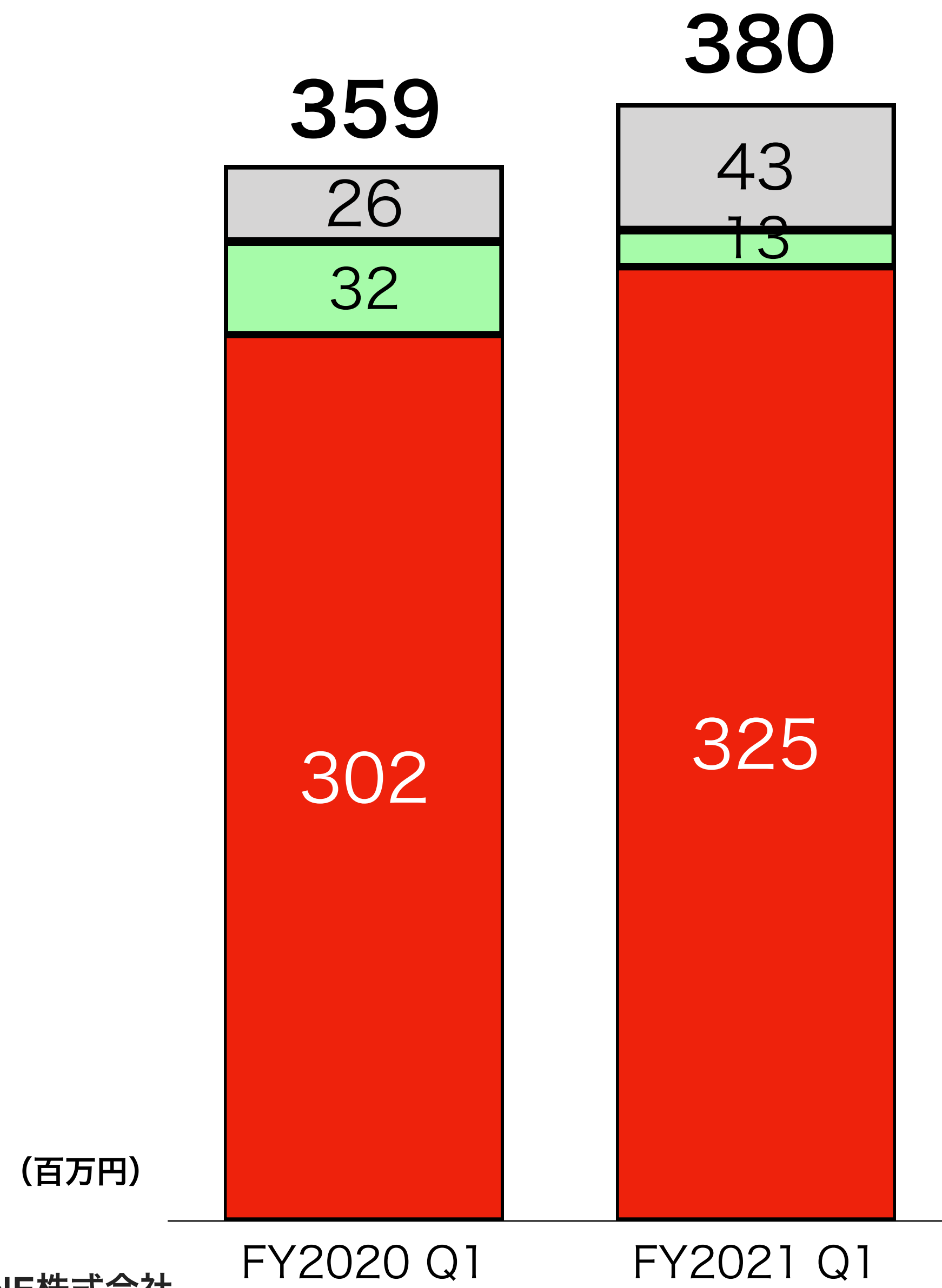
- 評価益 +9M (金融収益・CEJに係る損益)
- 税効果 -3M (法人所得税費用)
- 振替 -4M (CEJファンドの外部投資家持分)

参考) 前期の投資有価証券関連益 77M (純額)

連結売上実績 (取引別)

FY2021 通期試算
2,250~2,750 M

*既に存在する製品、承認済の対象疾患に基づく試算であり、新製品や対象疾患の拡大など未確定事項は織りこんでおらず、連結業績予想数値ではありません。



サービス

製品販売

レンタル・保守

ロボケア・ドイツ治療センター
(前期、新型コロナによる影響からの回復)
+14M

一時売上の減少

海外向け HAL医療用下肢タイプ レンタル
+22M

■ レンタル：保守：期間収益
■ 製品販売：一時点の販売収入
■ サービス：一時点のサービス収入

レンタル保守売上の推移（製品別）

下肢タイプ（医療用）と腰タイプ（介護自立支援用）が引き続き成長

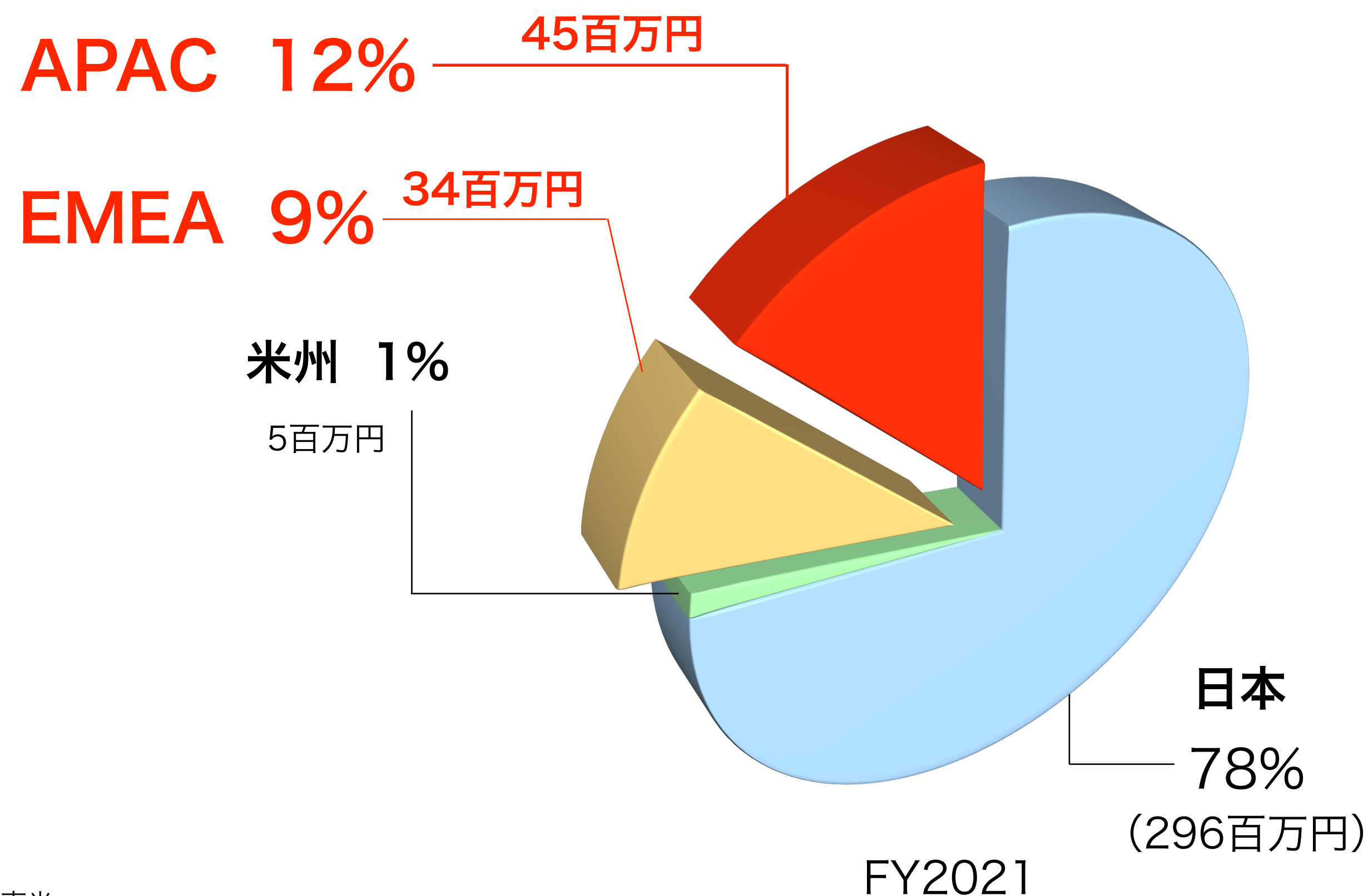
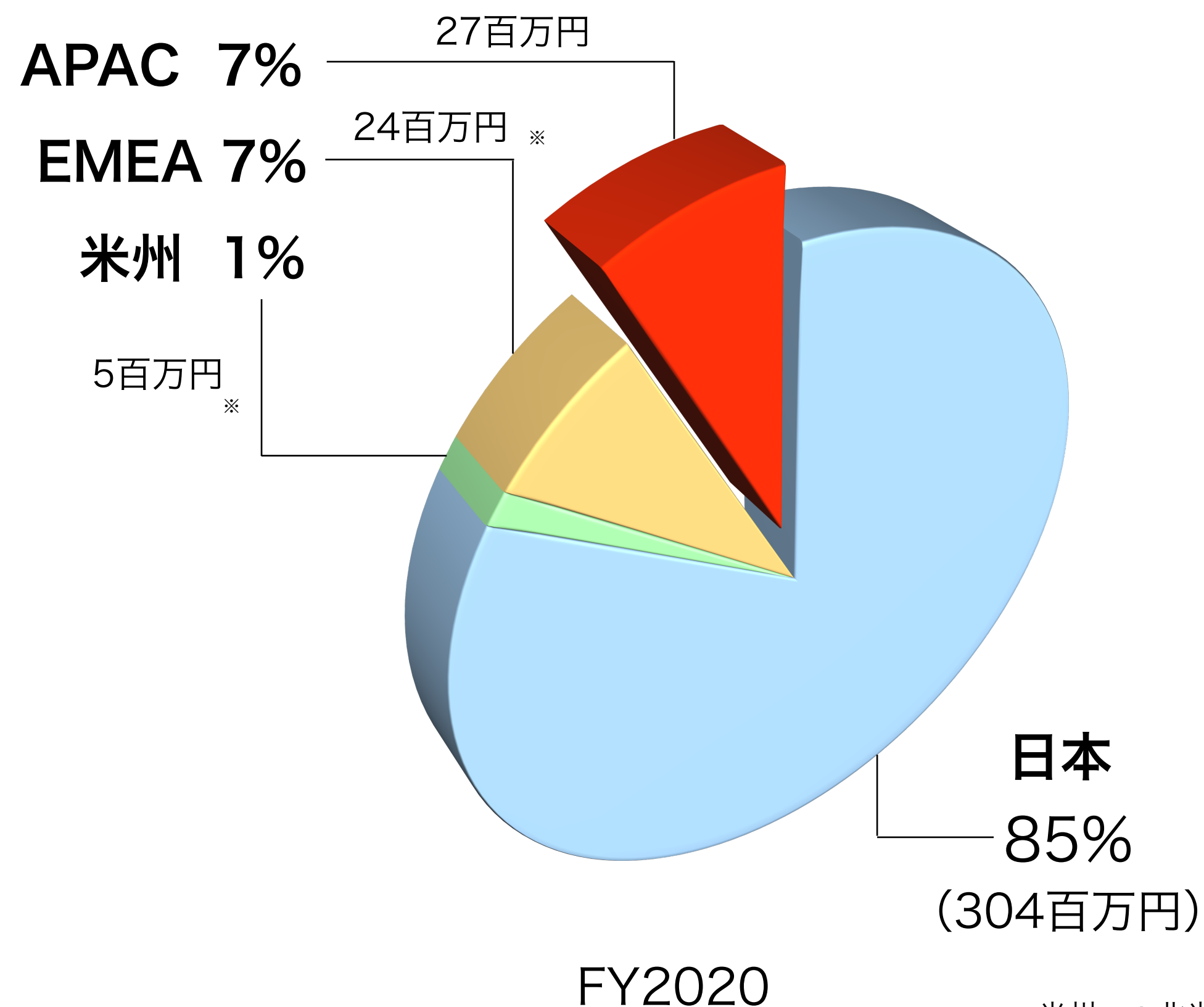
（単位：百万円）

製品		FY2020 - Q1	FY2021 - Q1 (構成比)	
医療機関向け (機能改善目的)	HAL下肢タイプ (医療用)	113	135	42%
	HAL下肢タイプ (福祉用等の非医療用)	49	47	14%
	HAL単関節タイプ	27	28	9%
介護自立支援	HAL腰タイプ	57	63	19%
作業支援	HAL腰タイプ	39	28	9%
移動ロボット（除菌清掃・搬送など）		12	15	5%
その他		5	9	3%
合計		302	325	100%

主にAPAC向け
が増収に寄与

APACや国内個人
向けが増収に寄与

海外売上高 51%増加
 APAC (主に東南アジア) 70%増加
 EMEA (主に欧州) 41%増加



米州 : 北米及び中南米
 EMEA : Europe, the Middle East and Africa (欧州、中東及びアフリカ)
 APAC : Asia-Pacific (アジア太平洋) ※日本を除く

(参考) 取引別・地域別売上 (マトリックス表)

(単位：百万円)

FY2021 - Q1 (FY2020 - Q1)	レンタル・保守	製品販売	サービス	合計
日本	255 (258)	12 (29)	29 (17)	296 (304)
米州	5 (5)	0 (-)	0 (-)	5 (5)
EMEA	19 (16)	0 (-)	14 (8)	34 (24)
APAC	45 (23)	- (3)	0 (0)	45 (27)
合計	325 (302)	13 (32)	43 (26)	380 (359)

本書には、当社および当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が本書作成時点において入手した情報に基づきなされたものであり、当社が何らの検証を行っておらず、また内容を保証するものではない公開情報を含んでいます。当社はこれらの記述を更新する義務を負っておりません。

当社および当社グループに関連する見通し、計画、目標は、当社が合理的と考える前提のもとに記述がなされていますが、これらの将来に関する記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、これらの記述において表現または暗示されている当社の将来の結果、業績、成果、財政状態と著しく異なる実際の結果、業績、成果、財政状態をもたらす可能性のある、既知および未知のリスク、不確実性、その他あらゆる要素を含んでいます。

CYBERDYNE株式会社